

春の陽気とともに新年度がスタートしました。この機会に忘れていた予防接種がないか確認してみませんか。コロナワクチン等で来院された方

●予防接種の打ち忘れはありませんか？ 母子手帳のご確認を！

今回は、小児科・柿本久子医師に「ストレスの少ない予防接種」などについてお聞きしました。

は母子手帳を確認し、都度お声がけいたしました。とく



小児科

Pediatrician Dr. Hisako Kakimoto

柿本久子医師

抱っこやお膝でくつろいでいる時間に「明日、注射をしに行くよ。〇〇ちゃんの体を病気から守るために必要なものなんだよ。少しチクツとするけど、じつとしていればすぐに終わるよ。」と、目をみながら静かなやさし

お子さんの注射のストレスを減らすためには、1歳すぎからは「事前の説明」が有効です。「かえって怖がるのではないか」「まだ小さいから分らないのでは」と思われる方もおられるかもしれませんが、これから起こることをあらかじめ伝えておくことで「何をされるかわからない」という怖さを取り除いてあげられるのです。だまし討ちは最悪です。

●おうちでできる注射の準備
く少しでもストレスの少ない
予防接種のために、

自己負担ゼロで打てる定期接種も、時期を逃すと自己負担となってしまいますので早めにご確認ください。

PROFILE

- 出身大学 奈良県立医科大学
- 資格 日本小児科学会 専門医
小児循環器専門医



い声でお話してあげてください。怖がって泣くかもしれません。でも、お母さん（お父さん）がずっと抱っこしているから、心配はいらないよ。泣いても大丈夫だよ。」とゆつくり言い聞かせてあげてください。

家で一生懸命お話ししてきても、直前に駄々をこねることもあると思います。心配はいりません。子どもさんとお話して本人の覚悟が決まるまで待ちます。残念ながら涙々になることもありますが、そのときは次に期待しましょう！

「僕、今日注射頑張ったよ」「怖かったけど動かなかったよ！」「私、泣いちゃったけど頑張れたよ！」きっと子どもも頑張れた自分が誇らしくて嬉しいのではないのでしょうか？来たときよりも胸を張って、軽い足取りで、誰かに早く報告したいという気持ちで帰れたら素敵ですね。

予防接種は連れていくのも「苦勞の、憂鬱で面倒なものかもしれない」かもしれません。しかし親子で成長をとともに喜べる機会でもあります。私たちもお手伝いができるよう頑張ります。

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。

マンモグラフィ装置が新しくなりました

特徴①
トモシンセシス撮影機能を搭載

この度、新たに導入した装置では、トモシンセシス撮影が可能になりました。トモシンセシス撮影とは、X線管球を移動させながら低線量で複数の画像を撮影し、薄い(1mm)断層画像を再構成する技術であり、「3Dマンモグラフィ」とも呼ばれています。これにより乳腺組織が重なり判別が困難であった病変がより見つけやすくなります。

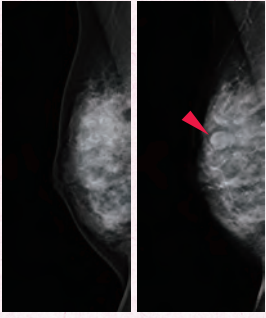
特に、乳腺組織の多い、高濃度乳房の場合、正常組織の中に紛れて病変が見えにくい場合があります。そのような場合でも、トモシンセシス撮影では、腫瘤の辺縁や石灰化の分布などの鑑別が容易となります。

特徴②
複数回の撮影でも低被ばくでの撮影が可能

新装置での撮影はトモシンセシス撮影をし、続けて通常の撮影を



▲この度導入した「富士フィルム社」製のマンモグラフィ装置「AMYLET SOPHINITY」。いわき市では初導入という機器です。



▲左が2D画像、右が3D画像。2Dでは分かりにくい高濃度乳房の場合でも、3D画像では腫瘍影が分かりやすく映し出されます。

します。左右それぞれ、上下・斜め方向から計4回圧迫をします。撮影の時間は乳房の厚さにもよりますが、1回の撮影で10〜20秒程度です。複数の位置から撮影すると前との装置よりも「被ばくが多いのでは？」と不安にならない方もいらっしゃると思います。

今回導入した装置は、高い画像処理技術を用い、トモシンセシス撮影を含めても従来使用していた装置での撮影と同程度の被ばく線量に抑えられています。

健康診断で「要精密検査」「再検査」と診断された方へ

常磐病院では精密検査医療機関として、2次検査となった患者様の診療を行っております。2023年は、1885件の検査を実施しました。

マンモグラフィ検査、乳腺超音波検査はいずれも女性技師が対応致しますので、安心してご来院ください。

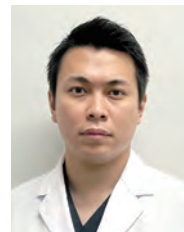


▲マンモグラフィの撮影は女性技師が対応します！

初期研修医2名が研修を修了

常磐病院ではじめての初期研修医が修了式をおこないました。

3月21日(木)に、常磐病院の講堂で式がおこなわれ、院長、副院長、センター長を含む14名が出席しました。



初期研修医
大森 一徹 医師

私にとってこの2年間はあっという間でした。多くの指導医・スタッフに支えられた研修生活はとても充実していて、終わるのが寂しい気持ちです。ときわ会全体で研修をサポートくださり、様々な症例を経験できたり、学術発表に取り組みたりしました。またいつか成長してここ常磐病院に帰ってくるつもりです。その際はご指導よろしくお願ひします。



初期研修医
坂橋 芳弘 医師

2年間の研修では手厚いご指導のもと外来、病棟、手術などで多くの経験をさせていただきました。常磐病院はとても働きやすい雰囲気の中で、皆様のサポートのお陰で無事研修を終えることができました。2年間本当にありがとうございました。来年度からは形成外科専攻医として、患者さんの傷を綺麗に治せる医師を目指して精進してまいります。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いいたします。

